

＜港区のワーク・ライフ・バランス認定証交付式 代表の言葉＞

【はじめに：自己紹介】

皆様、こんにちは。この度、新規認定をいただきました、株式会社やんかわ商店でございます。

弊社は主にテレビ番組の制作を行っておりますが「みんなで良い会社を作ろう」を合言葉に、クリエイティブな現場だからこそ、一人ひとりが健やかに働く環境づくりに注力してまいりました。本日は代表的な取り組みを3つの柱でご紹介します。

【1：柔軟な働き方の実現】

1つ目は、制作現場の常識を覆す「48種類のシフト制」の導入です。放送スケジュールに応じた予定と個々のライフスタイルに合わせた細かな勤務時間を設定することで、無理のない働き方を実現しています。勤務時間と休憩時間を明確化することで、変化の伴う勤務形態に対応できるようになりました。

また、特定の個人に負担が偏らないよう「チーム制による業務負荷の分散」と、全員が複数の業務をこなせる「多能工化」を推進し、テレワークや誕生日休暇、リカレント休暇を取得できる体制を整えています。

【2：コミュニケーションと心理的安全性】

2つ目は、「訊く（きく）」ことを大切にしたコミュニケーションです。コロナ禍でスタートした「ペちゃくちやタイム」では仕事なしのトークタイムを設定。デジタルコミュニケーションも設置しました。また、個人ビジョンを明確にする1on1やキャリア相談、さらには社内に「保健室」を設置するなど、メンタル・キャリアの両面から従業員をサポートし、誰もが本音で話せるオープンな環境を目指しています。

【3：成長支援と福利厚生】

最後に、従業員のスキルアップ支援です。研究会への参加費用は年間12万円の予算、教育・研修の予算は年間約40万円以上を会社が負担し、プロフェッショナルとしての成長を全力でバックアップしています。また、健康面では昼食・サラダなどを100円で購入できる「置き食」をスタートさせるなど、日々の活力を支える福利厚生も充実させております。

【結び】実はこうした充実の労働環境を整えるまでに7年かかりました。とても嬉しいです。今回の認定を励みに、これからも「テレビマンが最も働きやすい会社」を目指し、港区のワーク・ライフ・バランス推進に貢献してまいります所存です。ご清聴ありがとうございました。